

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	鳥取市医療看護専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	900時間／36単位	240時間／9単位	
	理学療法士学科	夜・通信	1530時間／87単位	240時間／9単位	
	作業療法士学科	夜・通信	2590時間／107単位	240時間／9単位	
	医療福祉総合学科	夜・通信	720時間／33単位	160時間／6単位	
(備考) ※看護学科 1年は新課程 (330時間／14単位) 2～3年は旧課程 (570時間／22単位) ※理学療法士学科 1年は新課程 (690時間／39単位) 2～3年は旧課程 (840時間／48単位) ※作業療法士学科 1年は新課程 (550時間／30単位) 2～3年は旧課程 (2040時間／77単位) ※医療福祉総合学科 医療秘書・クラーク専攻 (720時間／33単位) 健康リハビリ専攻 (510時間／23単位)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ (https://www.tcmn.ac.jp/jyouhou/)
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	鳥取市医療看護専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ (https://www.tcmn.ac.jp/jyuhou/)
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大阪大学大学院医学系研究科 教授 (2006.1.1～)	2020.8.25～ 2024.5.31	業界の情報収集
非常勤	社会医療法人弘道会 理事長 (2010.4.1～)	2020.8.25～ 2024.5.31	業界の情報収集
非常勤	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会富田林病院 院長 (2016.4.1～)	2020.8.25～ 2024.5.31	業界の情報収集
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鳥取市医療看護専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>《授業計画(シラバス)の作成過程》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度12月頃よりシラバス作成依頼を行い、2月末頃に提出依頼をする。 ・「授業科目における学習内容」「成績評価の方法と基準」「使用教材(教科書)及び参考図書」「授業外における学習方法」「履修に当たっての留意点」「授業の方法」「授業を通じての到達目標」「各コマにおける授業予定」「実務経験とその関連資格」をシラバスに記載する。 ・「成績評価の方法と基準」について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。 ・「実務経験とその関連資格」について、どのような実務経験のある教員かを記載する。 <p>《授業計画の作成・公表時期》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション時に学生に配布及びホームページに掲載する。 	
授業計画書の公表方法	ホームページ (https://www.tcmn.ac.jp/jyohou/) または学生配布
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各授業科目の成績評価は、看護学科、理学療法士学科、作業療法士学科、医療福祉総合学科で定める試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 ・成績評価の方法と基準について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。また、複数の教員または講師が担当する科目については、1つの試験で成績を評価する。その配点比率は担当する授業時間の割合による。 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ G P A制度などの成績評価に係る指標の算定方法を定め、成績状況の把握、評価を行っている。 <p>《算定方法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 履修規定第3章第8条2の評語を持って表した評価を5段階評価（A、B、C、D、F）に置き換え、その評価を4から0までの点数（G P : Grade Point）に置き換える。 ・ 置き換えた点数（G P）に履修した科目の各単位数を掛け合わせ、その掛けた数の総和（G P T : Grade Point Total）を履修科目の各単位数の合計で割る。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページ (https://www.tcmn.ac.jp/jyouhou/)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本課程に修業年限以上在学し、学則第23条に定める授業科目の単位修得認定を受け、卒業要件である所定の単位を全て修得した者について、卒業・課程修了判定会議の議を経て卒業を認定する。 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>ホームページ (https://www.tcmn.ac.jp/jyouhou/)</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	鳥取市医療看護専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2022/04taisya.html
収支計算書又は損益計算書	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2022/01shikin.html
財産目録	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2022/05zaisan.html
事業報告書	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2022/jigyohoukokou.pdf
監事による監査報告（書）	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2022/06kansa.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3065 単位時間／106 単位	2045 単位 時間/83 単位	0 単位時 間/0 単位	1020 単位 時間/23 単位	0 単位時 間/0 単位	0 単位時 間/0 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		219人	0人	13人	54人	67人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>《授業計画（シラバス）の作成過程》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度12月頃よりシラバス作成依頼を行い、2月末頃に提出依頼をする。 ・「授業科目における学習内容」「成績評価の方法と基準」「使用教材（教科書）及び参考図書」「授業外における学習方法」「履修に当たっての留意点」「授業の方法」「授業を通じての到達目標」「各コマにおける授業予定」「実務経験とその関連資格」をシラバスに記載する。 ・「成績評価の方法と基準」について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。 ・「実務経験とその関連資格」について、どのような実務経験のある教員かを記載する。 <p>《授業計画の作成・公表時期》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション時に学生に配布及びホームページに掲載する。

成績評価の基準・方法
(概要) <ul style="list-style-type: none"> 各授業科目の成績評価は、看護学科、理学療法士学科、作業療法士学科、医療福祉総合学科で定める試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 成績評価の方法と基準について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。また、複数の教員または講師が担当する科目については、1つの試験で成績を評価する。その配点比率は担当する授業時間の割合による。
卒業・進級の認定基準
(概要) <ul style="list-style-type: none"> 本課程に修業年限以上在学し、学則第23条に定める授業科目の単位修得認定を受け、卒業要件である所定の単位を全て修得した者について、卒業・課程修了判定会議の議を経て卒業を認定する。
学修支援等
(概要) 入学前教育、学習サポート、個別面接による学習支援（年に2回以上）、保護者会等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
70人 (100%)	0人 (0%)	67人 (95.7%)	3人 (4.3%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容) 教員及びキャリアセンターにおいて、就職ガイダンス・対策セミナー・個別指導を実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験受験資格、ニュース検定、認知症サポーター			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
232人	21人	9.05%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学習意欲、健康問題 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習支援、クラス環境整備、個別面談、保護者との情報共有・連携等		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法士学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3200 単位時間 ／143 単位	1710 単位 時間/101 単位	570 単位 時間/19 単位	920 単位 時間/23 単位	0 単位時 間/0 単位	0 単位時 間/0 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		116 人	0 人	5 人	19 人	24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>《授業計画（シラバス）の作成過程》</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度 12 月頃よりシラバス作成依頼を行い、2 月末頃に提出依頼をする。 「授業科目における学習内容」「成績評価の方法と基準」「使用教材（教科書）及び参考図書」「授業外における学習方法」「履修に当たっての留意点」「授業の方法」「授業を通じての到達目標」「各コマにおける授業予定」「実務経験とその関連資格」をシラバスに記載する。 「成績評価の方法と基準」について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。 「実務経験とその関連資格」について、どのような実務経験のある教員かを記載する。 <p>《授業計画の作成・公表時期》</p> <ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション時に学生に配布及びホームページに掲載する。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各授業科目の成績評価は、看護学科、理学療法士学科、作業療法士学科、医療福祉総合学科で定める試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 成績評価の方法と基準について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。また、複数の教員または講師が担当する科目については、1つの試験で成績を評価する。その配点比率は担当する授業時間の割合による。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 本課程に修業年限以上在学し、学則第 2 3 条に定める授業科目の単位修得認定を受け、卒業要件である所定の単位を全て修得した者について、卒業・課程修了判定会議の議を経て卒業を認定する。
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>入学前教育、学習サポート、個別面接による学習支援、保護者会等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 （100%）	0人 （0%）	27人 （100%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） 病院、老人保健施設			
（就職指導内容） 教員及びキャリアセンターにおいて、就職ガイダンス・対策セミナー・個別指導を実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士国家試験受験資格、語彙読解力検定、認知症サポーター			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
109人	6人	5.5%
（中途退学の主な理由） 学習意欲、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学習支援、クラス環境整備、個人面談等		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	作業療法士学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3185 単位時間 ／144 単位	1965 単位 時間/110 単位	300 単位 時間/11 単位	920 単位 時間/23 単位	0 単位時 間/0 単位	0 単位時 間/0 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		64 人	0 人	5 人	17 人	22 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>《授業計画（シラバス）の作成過程》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度 12 月頃よりシラバス作成依頼を行い、2 月末頃に提出依頼をする。 ・「授業科目における学習内容」「成績評価の方法と基準」「使用教材（教科書）及び参考図書」「授業外における学習方法」「履修に当たっての留意点」「授業の方法」「授業を通じての到達目標」「各コマにおける授業予定」「実務経験とその関連資格」をシラバスに記載する。 ・「成績評価の方法と基準」について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。 ・「実務経験とその関連資格」について、どのような実務経験のある教員かを記載する。 <p>《授業計画の作成・公表時期》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション時に学生に配布及びホームページに掲載する。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各授業科目の成績評価は、看護学科、理学療法士学科、作業療法士学科、医療福祉総合学科で定める試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 ・成績評価の方法と基準について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。また、複数の教員または講師が担当する科目については、1 つの試験で成績を評価する。その配点比率は担当する授業時間の割合による。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本課程に修業年限以上在学し、学則第 2 3 条に定める授業科目の単位修得認定を受け、卒業要件である所定の単位を全て修得した者について、卒業・課程修了判定会議の議を経て卒業を認定する。
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>入学前教育、学習サポート、個別面接による学習支援、保護者会等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24人 （100%）	0人 （0%）	23人 （95.8%）	1人 （4.2%）
（主な就職、業界等） 病院、老人保健施設			
（就職指導内容） 教員及びキャリアセンターにおいて、就職ガイダンス・対策セミナー・個別指導を実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） 作業療法士国家試験受験資格、文章読解・作成能力検定、ニュース時事能力検定、認知症サポーター、障がい者初級スポーツ指導員、福祉住環境コーディネーター2級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70人	11人	15.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更、健康問題		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学習支援、クラス環境整備、個別面談等		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	医療福祉総合学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1705 単位時間／79 単位	735 単位 時間/49 単位	810 単位 時間/27 単位	160 単位 時間/3 単 位	0 単位時 間/0 単位	0 単位時 間/0 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		22 人	0 人	1 人	8 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>《授業計画（シラバス）の作成過程》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度 12 月頃よりシラバス作成依頼を行い、2 月末頃に提出依頼をする。 ・「授業科目における学習内容」「成績評価の方法と基準」「使用教材（教科書）及び参考図書」「授業外における学習方法」「履修に当たっての留意点」「授業の方法」「授業を通じての到達目標」「各コマにおける授業予定」「実務経験とその関連資格」をシラバスに記載する。 ・「成績評価の方法と基準」について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。 ・「実務経験とその関連資格」について、どのような実務経験のある教員かを記載する。 <p>《授業計画の作成・公表時期》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション時に学生に配布及びホームページに掲載する。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各授業科目の成績評価は、看護学科、理学療法士学科、作業療法士学科、医療福祉総合学科で定める試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。 ・成績評価の方法と基準について、試験やレポートの内容、学習への意欲などを、どのように学修成果として評価しているのかをあらかじめ設定し、明らかにする。また、複数の教員または講師が担当する科目については、1 つの試験で成績を評価する。その配点比率は担当する授業時間の割合による。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本課程に修業年限以上在学し、学則第 2 3 条に定める授業科目の単位修得認定を受け、卒業要件である所定の単位を全て修得した者について、卒業・課程修了判定会議の議を経て卒業を認定する。
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>入学前教育、学習サポート、個別面接による学習支援、保護者会等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 教員及びキャリアセンターにおいて、就職ガイダンス・対策セミナー・個別指導を実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） メディカルフロントコンシェルジュ、ニュース検定、医療事務能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	1人	8.3%
（中途退学の主な理由） 学習意欲		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学習支援、クラス環境整備、個別面談等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	100,000 円	700,000 円	285,000 円	
理学療法士学科	100,000 円	800,000 円	385,000 円	
作業療法士学科	100,000 円	800,000 円	385,000 円	
医療福祉総合学科	100,000 円	700,000 円	135,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.tcmn.ac.jp/jyohou/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 卒業生、保護者、地域公共団体、高等学校関係者、業界関係者などにより構成された委員会が、本校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果について評価することを基本として行う。学校関係者評価委員よりいただいた10項目の評価を学内の委員会や会議等々で情報共有の上、今後の学校運営で具現活用していく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 鳥取県看護協会	2021年4月1日～2023年3月31日	企業等委員
鳥取市福祉部長寿社会課地域包括ケア推進係	2021年4月1日～2023年3月31日	企業等委員
医療法人東浩会石川病院	2021年4月1日～2023年3月31日	企業等委員
鳥取市保健所	2021年4月1日～2023年3月31日	地域公共団体
鳥取県立八頭高等学校	2021年4月1日～2023年3月31日	高等学校関係
鳥取医療生活協同組合 鳥取生協病院	2021年4月1日～2023年3月31日	卒業生
保護者代表	2021年4月1日～2023年3月31日	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.tcmn.ac.jp/jyohou/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.tcmn.ac.jp/>